

旧制伊香農学校と父の故郷を訪ねて



築150年の生家にて

父85歳のころ

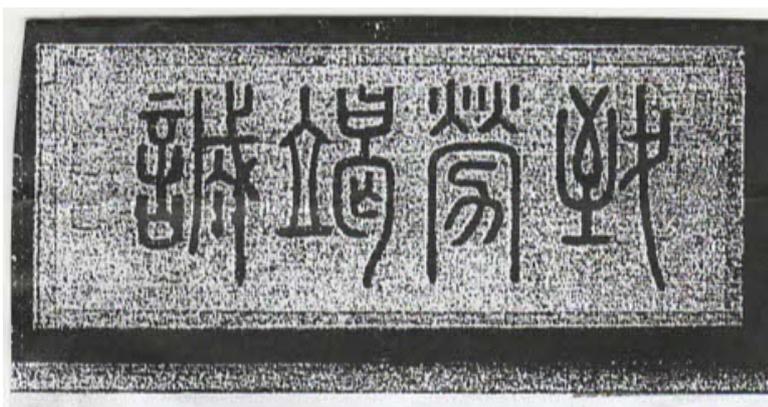


父の祖父 太八郎

滋賀県立伊香高校を訪問・土功碑に感銘



【土功碑】



滋賀県立伊香高等学校
土功碑扁額

致勞喝誠

【土功碑】について

伊香郡では明治29年、近在の数か村が協同して農学校を創立しました。大正10年、郡制廃止法が発布され、これを県に移管するにあたり、さらに発展させるべく、郡民が当該計画を慶事として、総額5万円もの大金と1万坪の土地を校地として県に提供することに決めました。校地は田神山麓にあり60尺にも及ぶ高低差の整地作業は極めて過酷なもので、それを二万人を超える郡民が、老人、幼児、主婦をも含め馳せ参じ、早朝・夜間作業を含めて終日、慣れぬ力仕事に大変苦勞したとあります。このように不撓不屈の精神のもと、1年にして成し遂げられました郡民総参加の整地事業は、国内まれにみる美挙でありまして、今後この学校に学ぶものもまた、この偉功に身を照らし徳を進め学業に励むと同時に、先人の偉業を継承してゆく為にも、そしてまた、この一大土功事業の経緯を後世に伝えるために、この【土功碑】を建立した。

滋賀県知事 堀田義次郎氏の文より



校長先生と



副校長先生と



環翠会館
(伊香高等学校の校友会館)



会館の2階
顕彰資料の額



父母の祭壇と
伊香高関連資料
(次女宅)